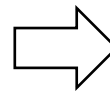
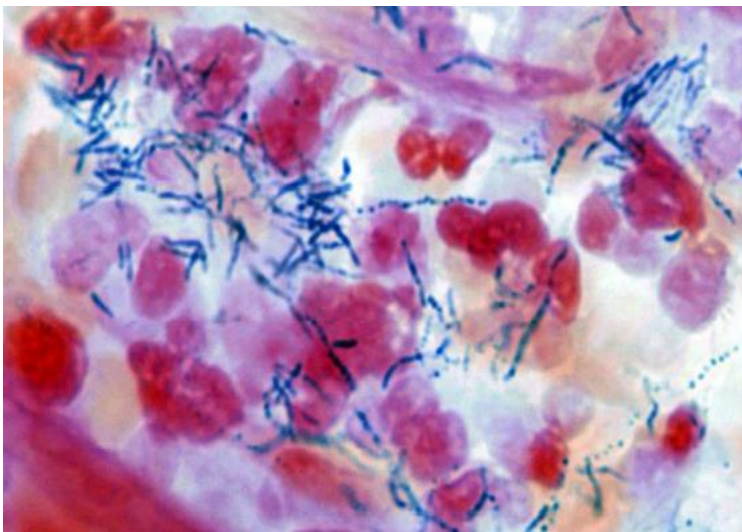


グラム染色で検索 *A. israelii*

放線菌症は、歯のエナメル質、歯ぐき、扁桃、膣や腸の粘膜にいる嫌気性放線菌 (*Actinomyces israelii*) やその他の *Actinomyces* 属細菌によって引き起こされる限局性または血行性の慢性嫌気性菌感染症となる。所見は複数の瘻管を伴う局所膿瘍、結核様肺炎、および軽度の全身症状である。このため、色々な臨床材料から検出されますが、嫌気性菌のため培養には時間がかかります。

但し、グラム染色により下記の様な像が確認出来れば、早期に放線菌感染の可能性を臨床へ報告できます。是非、注意して確認ください。 文責:霜島正浩



嫌気性菌? → **鏡検の報告にて放線菌疑いにてコメント報告** → 嫌気培養: 7~14日